



【 開催要領 】

第 239 回農林交流センターワークショップ（オンライン講習会）
土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法

令和 6 年 3 月 7 日(木)～3 月 8 日(金)

内 容	<p>食料生産～消費システム（フードシステム）全体を対象とした物質循環と環境負荷の把握、改善策の提示、具体的な行動への移行は、産学官全てに関わる重大な社会的課題となっており、国連 SDGs（No.12：責任ある消費と生産、など）や農林水産省「みどりの食料システム戦略」の目標達成にも深く関わっている。</p> <p>本ワークショップでは、特に窒素に焦点を当て、産学官から広く参加者を募り、農地土壌を介した食に関わる窒素循環とその改善策について、解析・予測技術の習得だけでなく、総合討論を行い、今後の研究交流につなげることを目指しております。</p>
期 間	令和 6 年 3 月 7 日(木)～3 月 8 日(金)
受 講 方 法	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センターから配信にて開催。インターネット環境と PC があれば、自席からご参加頂けるオンライン形式です。
主 催	農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター 国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
対 象	産学官の研究者・技術者・行政施策担当者等で、土壌を介した食の窒素循環の解析技術に関心のある方
募 集 人 数	15 名程度（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めていません）
日 程	日程表（別紙）
申 込 方 法	<p>○農林水産省関係の国立研究開発法人等に所属している方 筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。 ※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、筑波産学連携支援センターのホームページから「申込書・アンケート」をダウンロードし、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口を通じてお申し込みください。</p> <p>○上記以外の方（大学・公立研究機関・民間企業等に所属している方） 筑波産学連携支援センターのホームページより、お申し込みください。</p>
応 募 〆 切 り	令和 6 年 2 月 1 日（木曜日）まで
受 講 者 決 定	令和 6 年 2 月 8 日頃、メールにてお知らせいたします。
参 加 費	無料 ※受講後のアンケート回答は必須です（5～15 分程度）。
そ の 他	<p>オンラインには、Microsoft Teams を使用します。</p> <p>受講決定後に、接続先 URL をご連絡致しますので、各種ブラウザからアクセスいただけますようお願いいたします（Teams のインストール不要。）。</p>

（お申し込み・お問い合わせ先）

〒305-8601 茨城県つくば市観音台 2-1-9

農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課 渡邊、森田、木暮

TEL : 029-838-7129 FAX : 029-838-7204 E-mail : koryu7129@cc.affrc.go.jp

【日程表】

第 239 回農林交流センターワークショップ（オンライン講習会）
土壌を介した食の窒素循環の解析手法と予測手法
 令和 6 年 3 月 7 日(木)～3 月 8 日(金)

3 月 7 日 (木)

10:00-10:05	挨拶	「本ワークショップについて」	江口 定夫
10:05-11:00	実習	「土壌を介した食の窒素循環、窒素フットプリント概説」	江口 定夫
11:00-12:00	実習	「土壌中の窒素動態予測モデルLEACHM概説」	朝田 景
13:00-16:00	実習	「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（1）」	朝田、江口
16:00-17:00	実習	「質疑応答」	江口、朝田

3 月 8 日 (金)

10:00-11:00	実習	「食の窒素フロー、耕畜食連携システム概説」	江口 定夫
11:00-12:00	実習	「食の窒素フットプリント計算ソフトによる評価手法」	江口 定夫
13:00-14:00	実習	「LEACHMのWebツールによる窒素動態予測（2）」	朝田、江口
14:00-15:00	実習	「土壌からの窒素溶脱等モニタリング手法」	江口、朝田
15:00-16:00	実習	「総合討論、質疑応答」	江口、朝田

【ワークショップ講師】（◎：コーディネーター）

◎江口 定夫（農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 土壌資源・管理グループ 主席研究員）

◎朝 田 景（農研機構 農業環境研究部門 土壌環境管理研究領域 土壌資源・管理グループ 主任研究員）